

福生市町会長協議会 会報

ちいさ

《発行》 福生市町会長協議会 会長 笹本 誠一



大声であいさつする子どもたち

あいさつで

地域のつながりを深めましょう

福生市町会長協議会では、町会・自治会総ぐるみでの「あいさつ運動」に取り組んでいます。

あいさつは、地域における人と人とのつながりを深め、より良い地域社会づくりと、明るく健やかな子どもたちの育成につながります。

4月を「あいさつ運動」の強化月間とし、春の交通安全運動期間中に、あいさつ標語ののぼり旗を掲出し、地域の皆様とあいさつを交わします。御協力をお願いします。

活動の一環として

福生ふれあいフェスティバル

10月30日(日) 福生野球場

町会長協議会では、「あいさつ大声コンテスト」と、昔なつかしい「ぶんぶんゴマづくり」を行い、会場は子どもたちで溢れていました。

大声コンテストでは、午前の部と午後の部を行い、元気な子どもたち97名が参加し、その中で、大きな声を張り上げた6名が協議会より賞品(クオカード)をいただき、大喜びでした。

また、ぶんぶんゴマづくりでは、各会長の丁寧な教えにより、子どもたちや、親子連れの方が、十色のポスターカラーを使い、きれいに作り上げたコマを上手に回して楽しんでいました。



大盛況!! あいさつ風作り

軽スポーツ&どん汁会

11月20日(日) 多摩川中央公園

町会長協議会おなじみの「あいさつ風作り」には、大勢の子どもたちによって行列ができる程の大盛況でした。

子どもたちは、好きな色であいさつのことばを書き、作り上げた風は、空高く揚がり、会場は喜ぶ子どもたちの声でいっぱいでした。

町会・自治会とは？

町会・自治会では、お互いに「支えあい」ながら、まちに「にぎわい」や「うるおい」をもたらす、次のような活動を行っています。

地域住民の親睦活動

祭礼、運動会、餅つき大会、敬老事業などを通して、地域住民同士の交流や親睦を深め、連帯意識を高めて、日常生活を豊かで円滑なものにします。

地域の安全・安心活動

交通安全、防犯・防災活動の他、高齢者や子どもの見守り活動を行い、地域で安心して生活できる環境づくりを目指しています。

地域の美化活動

花いっぱい運動や資源回収、町内清掃等、地域が美しく暮らしやすいまちを目指しています。

市に対しての要望等の調整と情報提供

地域の意見や問題点を調整して、市などに要望しています。また、回覧などにより、新聞や市の広報以外の情報を伝えています。

紹介します！ 町会・自治会の活動

世代間交流

うるおい

内出町会 高水 章夫

内出町会内に熊川地域体育館が出来て25年が経ちます。この体育館で内出町会の親睦ミニ運動会を毎年開催しており、昨年11月で25回目となりました。

運動会当日の朝方は、雨が落ちてましたが、体育館内は中止の心配もなく、予定どおり行われました。始めは、体育指導員のもと、準備体操で体を十分にほぐし、その後、競技が始まりました。

最初の競技は、参加しやすい紅白玉入れです。未就学児・小学生・一般の部と和やかに始まり、引き続き50m競争で声援が飛び、大玉ころがしで連帯感ができ、未就学児の可愛い宝拾いで、会場の大人たちは顔がほころびます。そして、お年寄りまで参加できる人気絶大なパン食い競争、このパンがとても美味しいのです。



紅白大玉ころがし競争

さらに、会場が一体となる借り物競争、微妙な力加減の力口ーリング、笑いがこぼれます。このころになりますと、大勢の熱気で体育館が汗ばむほどになりました。次の親子によるデカパンリレーは、親が真剣になり、障害物リレーは皆の応援が力となります。綱引きは全員の息が合わないと勝てません。世代別混合リレーで最高潮に達し、最後に全員参加のジャンケン大会で会場が大いに盛り上がりました。

未就学児・小学生からお年寄りまで大勢の方々に参加頂き、

また青少年・子供の協力を得て、盛大かつ無事に終わりました。ぜひ皆様も地域の町会活動に参加して楽しい一時を過ごしてみませんか。

ホットな町会運営

支えあい

玉川台町会 小川 勇次

昨年は、3・11の東日本大震災、台風12・15号による新潟、福井等全国各地を襲った水害により被害を受けられた方々に紙面をお借りしてお見舞い申し上げます。玉川台町会は、企業や商店が全くなく、地域の真ん中を「わらつけ街道」が横断しており、町会会員の交友や活性化に苦労しているところです。

また、わが町会は専用の「会館」が無く狭隘な「防災事務所」を会館として利用しています。そんな狭い町会の事務所ですが、役員会や町会行事の打ち合わせなど、肩寄せ合いながら会員同士のコミュニケーションの場となっておりま。また、この事務所内に置いてある、会議時に



夏祭りの様子

使用するテーブルや、活動で使用するお鍋、防犯パトロール用拍子木などの大半が町会員からの寄贈品です。特筆すべきは、年間行事の一大イベントである、夏祭りを盛り上げてくれる「子供神輿」が町会会員による「手作り神輿」であるということです。もちろん祭りを盛り上げる「大太鼓」も会員からの寄贈品です。正に、我が町会を「盛り上げるにぎわせ」てくれる根底に存在するものは、町会会員の「支え合い」により成り立っております。これがちいさな小さなホットな我が「玉川台町会」の姿です。地域の皆様、まずはお住まいの

町会・自治会の行事に参加してみてはいかがでしょうか。

支え合う親子運動会

うるおい

長沢町会 小澤 芳輝

長沢町会の活動計画は、会員相互の「交流とふれあい」そして「助け合い」をもとにして、家族や地域での温かい人間関係の構築を図り「人の絆」を生み出す町会として活動を行っています。

町会主催の盆踊りや夏祭りは当然として、その他の行事でも「交流とふれあい」そして「助け合い」の精神で活動している事業を紹介いたします。

毎年、秋に青少年主催の「長沢親子運動会」が行われています。この運動会は青少年が中心になり、町会・PTA・町内の各種団体が協力して進行・準備・招集と子供からお年寄りまで一日楽しく過ごせることを目標に行っております。

綱引き・ムカデ競争など皆が力を合わせ行う競技や、2人が協力し、支え合わないとうまく

いかなる番号会わせ二人三脚や、ボール運びリレーなど、楽しみながらも支え合いの気持ちが大切な競技を行なっています。

普段、体を動かさない人が多いので「無理をしないでください」と言っているのですが、筋肉痛もおそれず元気に体力作り、また人との交流に勤しんでいました。また今回は、第5分団の協力により防災訓練〇×クイズを競技に加え、防災意識の向上を盛り込み、有意義な一日を過ごすことが出来ました。

皆様もお住まいの町会活動に参加してみてください。



親子協力してムカデ競争

広告掲載スペース

市民の力で国体を
成功させよう！

福生市はソフトボール競技(成年女子)の開催地です！



研修会の様子

西多摩地区自治会。

町内会連合会会長会

定例研修会

2月15日（水）に、あきる野市において、西多摩地区自治会・町内会連合会会長会主催の研修会が行われました。

西多摩地区8市町村から49名の町会・自治会長が集まり、福生市町会長協議会から6名の町会長が参加しました。

研修会では、「個性あるまちづくりと自治会・町内会」につ

いて講義を受けました。その後、それぞれの町会・自治会から、地域の現状と組織の抱える課題について意見が交換され、「加入率の低下」や、「高齢者の退会」「役員のなり手」などは、西多摩地域の共通課題でした。講師から、町会・自治会は、多くの住民の理解と参加を得ることが重要であり、活動を魅力的なものにしてほしいとのアドバイスがありました。

防災シンポジウムが行われました

3月9日（金）に、福生市民会館小ホールにおいて、福生消防署主催による「防災シンポジウム」が開催されました。

東日本大震災から一年がたち、関東地方においても、首都圏直下型地震の発生が危惧されています。今後、町会・自治会では、どのような対応をしていくべきかなどが話し合わせ、福生市町会長協議会から笹本協議会会長がパネラーとして参加しました。



パネラーで発言する笹本会長（左）

笹本会長は、家の中では、家具転倒防止対策の必要性和、地域では、言うまでもなく、住民同士が互いに信頼し合い、助け合い、力を発揮していくことが重要であるということを話されました。

最後にコーディネーター役を務めた福生消防署臼井課長は、地震の発生は防ぐことはできないが、被害を少なくすることはできるので、町会・自治会の日頃からの連携・協調は非常に大切であると語りました。

町会・自治会へ

加入しませんか

町会・自治会に加入すると

地域の人たちと顔見知りになり、非常時にも大きな効果を発揮するだけでなく、見守りが必要な高齢者の発見など、地域の事件や事故を未然に防ぐことにつながります。

どうやって加入するの？

お住まいの地域の町会・自治会にご連絡ください。

町会・自治会がわからない場合は福生市協働推進課（電話51・1590）までお問い合わせください。

平成24年3月
編集委員長
編集委員

高水 章夫
北村 良之
福原 敬三
堀江 秀夫
小澤 芳輝